年間授業計画　様式例

高等学校 令和７年度（１学年用） 教科　地理歴史　科目　地理総合

教　科：　地理歴史　　科　目：　地理総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　8 組

教科担当者：

使用教科書：（ 高等学校新地理総合、新詳高等地図 ）

教科　地理歴史　の目標：社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。

【 知　識　及　び　技　能 】現代世界の諸事象について、諸資料の内容を理解し、効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】現代世界の諸事象について、諸資料を活用して多面的・多角的に考察し説明する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】現代世界の諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

科目　地理総合　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	地理的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理的事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについて自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	1．地図と地理情報システム 【知識及び技能】現代世界の様々な地理情報について，地図や地理情報システムを用いて情報を収集し，まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】地図や地理情報システムについて，位置や範囲，縮尺などに着目して，目的や用途，内容，適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し，表現する。 【学びに向かう力、人間性等】地図や地理情報システムを利用し，よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	【指導事項】地球儀と地図、時差、一般図と主題図、統計地図の読み取りと利用、ＧＩＳの利用 【教材】教科書、資料集、統計、プリント 【一人１台端末の活用】地理院地図、Google Earth、今昔マップ、E-Stat等	【知識・技能】日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に，地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。現代世界のさまざまな地理情報について，地図や地理情報システムなどを用いて，その情報を収集し，読み取り，まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】地図や地理情報システムについて，位置や範囲，縮尺などに着目して，目的や用途，内容，適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】地図や地理情報システムを利用しながら，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	11
	2．結び付きを深める現代世界 【知識及び技能】現代世界の地域構成を示した地図の読図を基に，方位や時差，日本の位置と領域，国内や国家間の結び付きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】現代世界の地域構成について，位置や範囲などに着目して，世界的視野から見た日本の位置，国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し，表現する。 【学びに向かう力、人間性等】現代世界の地域構成を踏まえ，よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	【指導事項】国家と領域、主な国際組織と結び付きを深める国々、貿易の拡大、交通・通信の発達、グローバル化する観光 【教材】教科書、資料集、統計、プリント 【一人１台端末の活用】地理院地図、Google Earth、今昔マップ、E-Stat等	【知識・技能】現代世界の地域構成を示した地図の読図などを基に，方位や時差，日本の位置と領域，国内や国家間の結び付きについて理解している。 【思考・判断・表現】現代世界の地域構成について，位置や範囲などに着目して，主題を設定し，世界的視野から見た日本の位置，国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代世界の地域構成を踏まえ，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2学期	3．自然環境と生活文化の多様性 【知識及び技能】世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】世界の人々の生活文化について，その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現する。 【学びに向かう力、人間性等】生活文化の多様性を踏まえ，よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	【指導事項】地形と人々の生活、気候と人々の生活、乾燥した大陸と太平洋の島々での生活、モンスーンの影響を受ける地域での生活 【教材】教科書、資料集、統計、プリント 【一人１台端末の活用】地理院地図、Google Earth、今昔マップ、E-Stat等	【知識・技能】世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。世界の人々の特色ある生活文化を基に，自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思考・判断・表現】世界の人々の生活文化について，その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】生活文化の多様性を踏まえ，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	4．歴史や宗教、産業と生活文化の多様性 【知識及び技能】世界の人々の特色ある生活文化を基に，自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】世界の人々の生活文化について，その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現する。 【学びに向かう力、人間性等】生活文化の多様性を踏まえ，よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	【指導事項】イスラームと人々の生活の関わり、移民の歴史と人々の生活の関わり、植民地支配の歴史と人々の生活の関わり、国家体制の変化と人々の生活の関わり、産業力が世界の生活文化に与える影響、地域統合が人々の生活や産業に与える影響 【教材】教科書、資料集、統計、プリント 【一人１台端末の活用】地理院地図、Google Earth、今昔マップ、E-Stat等	【知識・技能】世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。世界の人々の特色ある生活文化を基に，自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思考・判断・表現】世界の人々の生活文化について，その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】生活文化の多様性を踏まえ，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3学期	5．地球的課題と国際協力 【知識及び技能】関連し合う地球的課題を踏まえ，地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】世界各地で見られる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について，地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して，主題を設定し，現状や要因，解決の方向性などを多面的・多角的に考察し，表現する。 【学びに向かう力、人間性等】地球的課題を踏まえ，よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	【指導事項】地球環境問題、資源・エネルギー問題、食料問題、都市・居住問題 【教材】教科書、資料集、統計、プリント 【一人１台端末の活用】地理院地図、Google Earth、今昔マップ、E-Stat等	【知識・技能】世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性について大観し理解している。世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 【思考・判断・表現】世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について，地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して，主題を設定し，現状や要因，解決の方向性などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】よりよい社会の実現に向けて地球的課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	7
	6．自然災害と防災 【知識及び技能】世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に，地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】自然及び社会的条件との関わり，地域の共通点や差異，持続可能な地域づくりなどに着目して，自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し，表現する。 【学びに向かう力、人間性等】自然環境と防災について，よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	【指導事項】日本の地形と気候、地震や津波とその対策、火山と共生する人々の生活、気象災害とその対策、減災への取り組みや被災地への支援 【教材】教科書、資料集、統計、プリント 【一人１台端末の活用】地理院地図、Google Earth、今昔マップ、E-Stat等	【知識・技能】地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに，自然災害の規模や頻度，地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。各種の防災・減災情報を収集し，まとめる地理的技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】地域性を踏まえた防災について，自然及び社会的条件との関わり，地域の共通点や差異，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】自然環境と防災について，よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	5
	7．生活圏の調査と地域の展望 【知識及び技能】生活圏の調査を基に，地理的な課題の調査・解決方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】生活圏の課題について，生活圏内外との結び付き，地域の成り立ちや変容に着目して，課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察，構想し，表現する。 【学びに向かう力、人間性等】生活圏を調査し，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	【指導事項】地域調査の事前準備、地域調査の実施、結果のまとめと発表、考察の方法 【教材】教科書、資料集、統計、プリント 【一人１台端末の活用】地理院地図、Google Earth、今昔マップ、E-Stat等	【知識・技能】生活圏の調査を基に，地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。 【思考・判断・表現】生活圏の地理的な課題について，生活圏内や生活圏外との結び付き，地域の成り立ちや変容，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】生活圏の調査と地域の展望について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画　様式例

高等学校 令和7年度（１学年用） 教科　　地理歴史　　科目　　歴史総合

教　科：　地理歴史　　科　目：　　歴史総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　　1 組～　　8 組

教科担当者：

使用教科書：（ 現代の歴史総合　みる・読みとく・考える　　）

教科　　地理歴史　　の目標：　社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することをめざす。

【知　識　及　び　技　能】近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、諸資料の内容を理解し、効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、諸資料を活用して多面的・多角的に考察し説明する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う

科目　　歴史総合　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそのなかの日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	「歴史と私たち・歴史と資料」 科目の特色の理解、授業の進め方、諸資料の読み方・類型・調べ方、問いの立て方や類型、評価方法について理解させる。	・指導内容 諸資料の読み方・問いの立て方など ・教材 教科書、配布プリント ・ICT機器 一人１台端末の活用	科目の特色の理解、授業の進め方、諸資料の読み方・類型・調べ方、問いの立て方や類型、評価方法について理解することができる。	○		○	6
	「近代化と私たち」 「近代化」に関する歴史的事象について、諸資（史）料の読み取りや説明を通じて知識を獲得する。そして、知識や諸資（史）料を活用したり、「問い」を設定するなどして多面的・多角的に考察し、発表する。	・指導内容 明治維新・市民革命・産業革命・帝国主義などの歴史的事象 ・教材 教科書、配布プリント ・ICT機器 一人１台端末の活用	「近代化」に関する歴史的事象について、諸資（史）料の読み取りや説明を通じて知識を身につけることができる。そして、知識や諸資（史）料を活用したり、「問い」を設定するなどして多面的・多角的に考察し、発表することができる。	○	○	○	6
	「国際秩序の変化」 「国際秩序の変化」に関する歴史的事象について、諸資（史）料の読み取りや説明を通じて知識を獲得する。そして、知識や諸資（史）料を活用したり、「問い」を設定するなどして多面的・多角的に考察し、発表する。	・指導内容 WW1からWWⅡまでの流れやアジアのナショナリズムなど ・教材 教科書、配布プリント ・ICT機器 一人１台端末の活用	「国際秩序の変化」に関する歴史的事象について、諸資（史）料の読み取りや説明を通じて知識を身につけることができる。そして、知識や諸資（史）料を活用したり、「問い」を設定するなどして多面的・多角的に考察し、発表することができる。	○	○	○	6
	「大衆化と私たち」 「大衆化」に関する歴史的事象について、諸資（史）料の読み取りや説明を通じて知識を獲得する。そして、知識や諸資（史）料を活用したり、「問い」を設定するなどして多面的・多角的に考察し、発表する。	・指導内容 大衆の政治参加、大衆文化、消費社会、戦争下の社会など ・教材 教科書、配布プリント ・ICT機器 一人１台端末の活用	「大衆化」に関する歴史的事象について、諸資（史）料の読み取りや説明を通じて知識を身につけることができる。そして、知識や諸資（史）料を活用したり、「問い」を設定するなどして多面的・多角的に考察し、発表することができる。	○	○	○	6
2学期	「グローバル化と私たち①」 「グローバル化」に関する歴史的事象について、諸資（史）料の読み取りや説明を通じて知識を獲得する。そして、知識や諸資（史）料を活用したり、「問い」を設定するなどして多面的・多角的に考察し、発表する。	・指導内容 冷戦の構図、軍拡競争から緊張緩和、地域連携の形成と展開など ・教材 教科書、配布プリント ・ICT機器 一人１台端末の活用	「グローバル化」に関する歴史的事象について、諸資（史）料の読み取りや説明を通じて知識を身につけることができる。そして、知識や諸資（史）料を活用したり、「問い」を設定するなどして多面的・多角的に考察し、発表することができる。	○	○	○	14
	「グローバル化と私たち②」 「グローバル化」に関する歴史的事象について、諸資（史）料の読み取りや説明を通じて知識を獲得する。そして、知識や諸資（史）料を活用したり、「問い」を設定するなどして多面的・多角的に考察し、発表する。	・指導内容 日本高度経済成長、アジア貯地域の経済発展、市場開放と経済の自由化 ・教材 教科書、配布プリント ・ICT機器 一人１台端末の活用	「グローバル化」に関する歴史的事象について、諸資（史）料の読み取りや説明を通じて知識を身につけることができる。そして、知識や諸資（史）料を活用したり、「問い」を設定するなどして多面的・多角的に考察し、発表することができる。	○	○	○	13
	定期考査	知識問題・論述問題・振り返り	考査・学習態度（調べ学習や発表）などから総合的に判断する	○	○	○	1
3学期	「グローバル化と私たち③」 「グローバル化」に関する歴史的事象について、諸資（史）料の読み取りや説明を通じて知識を獲得する。そして、知識や諸資（史）料を活用したり、「問い」を設定するなどして多面的・多角的に考察し、発表する。	・指導内容 冷静後の世界、地域統合の拡大と変容、現代と私たちなど ・教材 教科書、配布プリント ・ICT機器 一人１台端末の活用	「グローバル化」に関する歴史的事象について、諸資（史）料の読み取りや説明を通じて知識を身につけることができる。そして、知識や諸資（史）料を活用したり、「問い」を設定するなどして多面的・多角的に考察し、発表することができる。また、現代や私たちとのつながりという視点から事象を考察することができる。	○	○	○	17
	定期考査	知識問題・論述問題・振り返り	考査・学習態度（調べ学習や発表）などから総合的に判断する	○	○	○	1
							合計
							70

年間授業計画　様式例

高等学校 令和７年度（１学年用） 教科　　公民　　科目　　公共

教　科：　公民　　科　目：　公共　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　　1 組～　　8 組

教科担当者：

使用教科書：（『公共』数研出版　　）

教科　　公民　　の目標：

【知識及び技能】選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理，政治，経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題について，事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，解決に向けて公正に判断したりする力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される，人間としての在り方生き方についての自覚や，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める

科目　　公共　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第1章 公共的な空間をつくる私たち 【知識及び技能】青年期の特徴、哲学の源流思想、宗教、日本の思想及び西洋思想の需要などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】自己形成の課題を考察し哲学・宗教・生活文化が人間に与えている影響に気づく。 【学びに向かう力、人間性等】よりよく生きることへの自覚を深める。	第1章 公共的な空間をつくる私たち 青年期と自己形成 人間としての自覚 日本人としての自覚	【知識・技能】・青年期は自立や自律をはかる重要な時期であること、古代ギリシャや古代中国の思想、世界の宗教、日本人の思想などを理解できている。 【思考・判断・表現】自己形成の課題について考察でき、哲学・宗教・生活文化が人間に与えている影響に気づいている。 【主体的に学習に取り組む態度】よりよく生きることについての自覚を深められている。	○	○	○	6
	第2章公共的な空間における人間としての在り方生き方 【知識及び技能】近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容、地球環境問題，資源・エネルギー問題，生命科学や情報技術の進展などの事象について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりをつかむ。 【学びに向かう力、人間性等】選択・判断の手掛かりとなる考え方を使って，現代の諸課題を主体的に追究できる。	第2章公共的な空間における人間としての在り方生き方 西洋近現代の思想 現代の諸課題と倫理	【知識・技能】近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容、地球環境問題，資源・エネルギー問題，生命科学や情報技術の進展などの事象について理解できている。 【思考・判断・表現】公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりをつかんでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】選択・判断の手掛かりとなる考え方を使って，現代の諸課題を主体的に追究できている。	○	○	○	5
	第3章　公共的な空間における基本原理 【知識及び技能】法などの社会規範の役割、民主政治のあゆみ、日本国憲法の三大原理や第9条の内容、日本国憲法で保障されている権利を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】民主政治における国家と個人のあり方、日本国憲法で保障されている権利と公共の福祉の関係、日本の平和主義のあり方を考える。 【学びに向かう力、人間性等】民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深める。	第3章　公共的な空間における基本原理 民主社会の基本原理 日本社会の基本原理	【知識・技能】法などの社会規範の役割、民主政治のあゆみ、日本国憲法の三大原理や第9条の内容、日本国憲法で保障されている権利を理解している。 【思考・判断・表現】民主政治における国家と個人のあり方、日本国憲法で保障されている権利と公共の福祉の関係、日本の平和主義のあり方を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深められている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
	第4章　現代の民主政治と政治参加の意義 【知識及び技能】日本国憲法に見られる三権相互の関係とそれぞれの役割、行政機能が拡大している現状、選挙のしくみ、政党の役割、地方自治の現状と課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】日本の政治のしくみを学習しながら、そこに潜む問題点を探しながら解決策を考える。 【学びに向かう力、人間性等】具体的な事例や判例を通して、さまざまな問題を自分事としてとらえる。	第4章　現代の民主政治と政治参加の意義 日本の政治機構 政治参加と民主政治の課題	【知識・技能】日本国憲法に見られる三権相互の関係とそれぞれの役割、行政機能が拡大している現状、選挙のしくみ、政党の役割、地方自治の現状と課題を理解できている。 【思考・判断・表現】日本の政治のしくみに潜む問題点を探しながら解決策を考えられる。 【主体的に学習に取り組む態度】具体的な事例や判例を通して、さまざまな問題を自分の立場で考えてみようとしている。	○	○	○	6

2学期	第5章　現代の経済社会と経済活動のあり方 【知識及び技能】現代の企業、市場経済、各種経済指標、金融・財政のしくみについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】経済の様々な問題について統計資料を見ながら考察する。 【学びに向かう力、人間性等】経済社会に主体的に生きる一員として，経済事象を観察する姿勢を持つ。	第5章　現代の経済社会と経済活動のあり方 経済のしくみと市場機構 財政と金融	【知識・技能】現代の企業、市場経済、各種経済指標、金融・財政のしくみ、について理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】経済の様々な問題について当該資料などを見ながら考察できている。 【学びに向かう力、人間性等】経済社会に主体的に生きる一員として，今後の日本経済について見通しがたてられている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○	○	1
	第5章　現代の経済社会と経済活動のあり方 【知識及び技能】戦後日本経済のあゆみ、産業構造の変化、中小企業や農業、契約の原則、雇用・労働問題や社会保障について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】経済の様々な問題について統計資料などを見ながら考察する。 【学びに向かう力、人間性等】今後の日本経済について見通しがたてられるようにする。	第5章　現代の経済社会と経済活動のあり方 日本経済の発展と変化 豊かな生活と福祉の実現	【知識・技能】戦後日本経済のあゆみ、産業構造の変化、中小企業や農業、契約の原則、雇用・労働問題や社会保障について理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】経済の様々な問題について当該資料を見ながら考察できている。 【学びに向かう力、人間性等】今後の日本経済について見通しがたてられている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
3学期	第6章　国際社会の動向と日本の役割 【知識及び技能】国際法の意義、国際連合の組織、冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れ、国際社会の中での日本の役割を理解する。 貿易や外国為替相場、戦後の国際経済の流れ、地域経済統合が進んでいる世界の現状を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】国際政治・経済の様々な問題について地図・資料などを見ながら考察する。 【学びに向かう力、人間性等】国際社会の一員としてどんな貢献ができるか考える。	第6章　国際社会の動向と日本の役割 国際政治の動向 国際政治の課題と日本の役割 国際経済の動向と国際協力	【知識及び技能】国際法の意義、国際連合の組織、冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れ、国際社会の中での日本の役割を理解している。 貿易や外国為替相場、戦後の国際経済の流れ、地域経済統合が進んでいる世界の現状を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】国際政治・経済の様々な問題について地図・資料などを見ながら考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】国際社会の一員としてどんな貢献ができるか考えられている。	○	○	○	18
							合計
	定期考査			○	○	○	70

年間授業計画　様式例

高等学校 令和７年度（２学年用） 教科　　地理歴史　科目 日本史探究

教　科：　地理歴史　　科　目：　　日本史探究　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　8 組

教科担当者：

使用教科書：（ 山川出版社『日本史探究 詳説日本史』 ）

教科　　地理歴史　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察

科目　　日本史探究　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 前近代史の概観 原始～近世の歴史の展開に関わる基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等を身につける。	・原始～近世の歴史の概観 ・授業プリント・板書 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】原始～近世の歴史の展開に関わる基本的な知識・技能を身につけている。 【思考・判断・表現】原始～近世の歴史の展開に関わる思考力・判断力・表現力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】原始～近世の歴史の展開に関わって、主体的に学習に取り組む態度がみられる。	○	○	○	4
	B 近世から近代へ ①国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。 ②幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の一掃に至るまでの経過を理解する。	・開国と幕末の動乱、幕府の滅亡と新政府の発足 ・授業プリント・板書 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。 【思考・判断・表現】日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6
	C 近代国家の成立 ①明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、政治的変革と国家的統一過程を理解する。 ②政府の強力な中央集権体制への志向のもとで、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。	・明治維新と富国強兵、立憲国家の成立 ・授業プリント・板書 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。 【思考・判断・表現】諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	7
	D 近代国家の展開 ①東アジアをめぐる国際環境が変容する中、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について理解する。 ②開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連づけて考察する。	・日清・日露戦争と国際関係、第一次世界大戦と日本、ワシントン体制 ・授業プリント・板書 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。 【思考・判断・表現】議会が戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2学期	E 近代の産業と生活 ①日清・日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して理解する。 ②近代産業の発展にともなう社会問題(労働問題・公害問題)の発生と政府の対応について考察する。	・近代産業の発展、近代文化の発達、市民生活の変容と大衆文化 ・授業プリント・板書 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】産業の発達の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。 【思考・判断・表現】地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、自ら主体的に追究しようとしている。	○	○	○	9
	F 恐慌と第二次世界大戦 ①戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。 ②社会主義運動の高揚と国家主義の台頭による軍部の政治的進出を踏まえて、協調外交が挫折していく過程を考察する。	・恐慌の時代、軍部の台頭、第二世界大戦 ・授業プリント・板書 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連続した恐慌と政府の対応などに関わる諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。 【思考・判断・表現】ワシントン体制下の協調外交が、中国における民族運動の進展や日本の経済の動向によって次第に緊張が高まったことについて考察し、根拠を明確にして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1

	G　占領下の日本 ①戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策および戦後の民主化政策とそれにともなう諸改革について、その経過と内容を理解する。 ②戦後政治の動きを踏まえて、集大成となる日本国憲法制定の意義を考察する。	・占領と改革、冷戦の開始と講和 ・授業プリント・板書 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解している。 【思考・判断・表現】日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟、新安保条約・ＬＴ貿易・日韓基本条約・沖縄返還問題などの外交事案がもたらした課題を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】55年体制の歴史的意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
３学期	H　高度成長の時代 ①独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を理解する。 ②冷戦構造の中で日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察する。	・55年体制、経済復興から高度経済成長へ ・授業プリント・板書 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】冷戦やグローバル化の進展の影響などに着目して、戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活や地域社会の変化に関わる諸資料から情報を読み取っている。 【思考・判断・表現】日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連づけたり、様々な社会問題の発生について多面的・多角的に考察したりして、その結果を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】高度経済成長がもたらした国内的・国際的な日本の変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	10
	I　激動する世界と日本 ①ドル＝ショックや石油危機を踏まえて、主要先進国首脳会議が開かれた意義を理解する。 ②高度成長が終焉し、保守政権が動揺する中、２度にわたる石油危機を乗り越え、経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を多面的・多角的に考察する。	・経済大国への道、冷戦の終結と日本社会の変容 ・授業プリント・板書 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】ドル＝ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。 【思考・判断・表現】日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画

高等学校 令和7年度（２学年用） 教科　　地理歴史　科目 世界史探究

教　科：地理歴史　　科　目：　　世界史探究　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　　組～　　組

教科担当者：

使用教科書：（ 詳説　世界史　　）

教科　　地理歴史　　の目標：社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、理解しているとともに、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色について概念などを活用して多面的・多角的に考察したり構想したりする力、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　　世界史探究　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	「前近代の世界」 ヨーロッパ世界の基礎となった「古代地中海世界」の形成と崩壊、中世ヨーロッパの歴史の概略を理解させる。	・指導内容 古代オリエント世界やギリシア世界・ローマ世界・中世社会の特徴など ・教材 教科書、配布プリント ・ICT機器 一人１台端末の活用	ヨーロッパ社会を形成に影響を与えたオリエント・ギリシア・ローマ世界の特徴、キリスト教の拡大と封建社会による中世ヨーロッパ世界の特徴を理解することができる。それらが後世に与えた影響や意義を多面的・多角的に考察し表現できる。また、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	「近世ヨーロッパの動向①」 ルネサンスのもたらした変革、宗教改革の理念と拡大、主権国家体制形成に向かう諸国について理解させるとともに、多面的・多角的に考察し表現する。	・指導内容 ルネサンスの活動・ルター・カルヴァン・英国教会・英仏西の動向 ・教材 教科書、配布プリント ・ICT機器 一人１台端末の活用	ルネサンスの担い手や精神の特徴、それぞれの宗教改革の違い、主権国家体制の成立の経緯を理解することができる。それが後世に与えた影響や意義を多面的・多角的に考察し表現できる。また、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	「近世ヨーロッパの動向②」 オランダの覇権および衰退の要因、英の2つの革命、英仏のグローバルな戦いの背景や経緯について理解させるとともに、多面的・多角的に考察し表現する。	・指導内容 オランダ・イギリス・フランスの動向 ・教材 教科書、配布プリント ・ICT機器 一人１台端末の活用	オランダの覇権獲得の要因、イギリスの革命、近世フランスの強みと課題、英仏の覇権争いを理解することができる。それぞれの意義や国際的な状況の視点から多面的・多角的に考察し表現できる。また、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	「近世ヨーロッパの動向③」 東欧や北欧の主権国家体制、普・墺の関係の数位、啓蒙専制主義の特徴、科学革命の意義について理解させるとともに、多面的・多角的に考察し表現する。	・指導内容 東欧・北欧の動向・科学革命と啓蒙思想 ・教材 教科書、配布プリント ・ICT機器 一人１台端末の活用	ポーランドとスウェーデン。ロシアの主権国家体制への参入、普・墺の啓蒙専制主義、科学革命の成果などを理解することができる。それらが後世に与えた影響や意義を多面的・多角的に考察し表現できる。また、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査	知識問題・論述問題・振り返り	考査・学習態度（調べ学習や発表）などから総合的に判断する	○	○	○	1
2学期	「産業革命と環大西洋革命①」 産業革命が世界経済や社会に与えた影響、アメリカ合衆国の独立がヨーロッパ諸国に与えた影響について理解させるとともに、多面的・多角的に考察し表現する。	・指導内容 産業革命　アメリカ合衆国の独立と発展 ・教材 教科書、配布プリント ・ICT機器 一人１台端末の活用	ヨーロッパ経済の動向、産業革命の過程、北米に建設されたヨーロッパ諸国の植民地の分布、独立直後と今日のアメリカ合衆国の共通点や相違点を理解することができる。それらが後世に与えた影響や意義を多面的・多角的に考察し表現できる。また、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	13
	「産業革命と環大西洋革命②」 人権宣言と独立宣言の共通点と相違点、中南米諸国の独立運動がもたらした影響について理解させるとともに、多面的・多角的に考察し表現する。	・指導内容 フランス革命とナポレオンの支配、中南米諸国の独立 ・教材 教科書、配布プリント ・ICT機器 一人１台端末の活用	革命中のフランス国家体制の変遷、ナポレオン支配に対する人々の反応、ハイチ革命の特殊性などを理解することができる。それらが後世に与えた影響や意義を多面的・多角的に考察し表現できる。また、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	13
	定期考査　２回	知識問題・論述問題・振り返り	考査・学習態度（調べ学習や発表）などから総合的に判断する	○	○	○	2
3学期	「イギリスの優位と欧米国民国家の形成①」 ウィーン体制による国際秩序の形成と崩壊過程、大陸諸国とイギリスの政治変革の特徴、ビスマルクによる国際秩序の形成過程について理解させるとともに、多面的・多角的に考察し表現する。	・指導内容 ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動　列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 ・教材 教科書、配布プリント ・ICT機器 一人１台端末の活用	ウィーン体制を動揺させた要因、1848年革命の展開、クリミア戦争による各国の思惑、ドイツ・イタリアの国民国家の成立過程、ビルマルクの諸政策の動機などを理解することができる。それらが後世に与えた影響や意義を多面的・多角的に考察し表現できる。また、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	「イギリスの優位と欧米国民国家の形成②」 アメリカ合衆国の歴史において移民が持つ意義、19世紀欧米文化における担い手や展開された推移について理解させるとともに、多面的・多角的に考察し表現する。	・指導内容 アメリカ合衆国の発展　19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄 ・教材 教科書、配布プリント ・ICT機器 一人１台端末の活用	領土拡大がアメリカ社会に与えた影響、南北戦争の過程、国民文化と国民国家形成との関係、近代諸科学の発展の要因などを理解することができる。それらが後世に与えた影響や意義を多面的・多角的に考察し表現できる。また、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査	知識問題・論述問題・振り返り	考査・学習態度（調べ学習や発表）などから総合的に判断する	○	○	○	1
							合計 70

年間授業計画　様式例

高等学校 令和７年度（３学年用） 教科　地理歴史　科目　地理探究

教　科：　地理歴史　　科　目：　地理探究　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　　1 組～　　8 組

教科担当者：

使用教科書：（ 新詳地理探究（帝国書院）新詳高等地図（帝国書院）　　）

教科　　地理歴史　　の目標：　社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。

【知識及び技能】現代世界の諸事象について、諸資料の内容を理解し、効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】現代世界の諸事象について、諸資料を活用して多面的・多角的に考察し説明する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】現代世界の諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

科目　　地理探究　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理的事象の空間的な規則性や傾向性、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解すると共に、地図や地理情報システムなどを用いて情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付ける。	地理的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などの概念を用いて、系統地理的に考察したり、現代世界の諸課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。	現代世界の諸課題を主体的に探究しようとする態度を養うと共に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、地球環境や世界の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	①地形の形成過程や形成要因について、自然科学的な観点からの理解に基づき、人間社会との関わりや空間的な規則性、傾向性を見出す。 ②地形と人間社会との関わりが見られる地域の特徴に着目しながら主題を設定し、当該地域の課題や今後の展望について多面的・多角的に考察し、表現する。 ③世界と日本の地形について、人間社会との調和を視野に、様々な課題を主体的に追究する。	世界と日本の地形	①地形の形成過程や形成要因について、自然科学的な観点から理解しており、人間社会との関わりや空間的な規則性、傾向性を見出そうとしている。 ②地形と人間社会との関わりが見られる地域の特徴に着目しながら主題を設定し、当該地域の課題や今後の展望について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界と日本の地形について、人間社会との調和を視野に、様々な課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	7
	①各地で異なる現れ方をしている気候について、自然科学的な観点からの理解に基づき、人間生活との関わりや空間的な規則性、傾向性を見出す。 ②気候と人間社会との関わりが見られる地域の特徴に着目しながら主題を設定し、当該地域の課題や今後の展望について多面的・多角的に考察し、表現する。 ③世界の気候について、人間社会との調和を視野に、様々な課題を主体的に追究する。	世界と日本の気候	①各地で異なる現れ方をしている気候について、自然科学的な観点から理解しており、人間社会との関わりや空間的な規則性、傾向性を見出す。 ②気候と人間社会との関わりが見られる地域の特徴に着目しながら主題を設定し、当該地域の課題や今後の展望について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界と日本の気候について、人間社会との調和を視野に、様々な課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	7
	①各地で異なる現れ方をしている地球環境問題について、自然科学的な観点からの理解に基づき、人間生活との関わりや空間的な規則性、傾向性を見出す。 ②自然環境と人間社会が共存できる持続可能な社会を創出するために必要な取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 ③地球環境問題について、人間社会との調和を視野に、様々な課題を主体的に追究する。	地球環境問題	①各地で異なる現れ方をしている地球環境問題について、自然科学的な観点から理解しており、人間生活との関わりや空間的な規則性、傾向性を見出そうとしている。 ②自然環境と人間社会が共存できる持続可能な社会を創出するために必要な取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地球環境問題について、人間社会との調和を視野に、様々な課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	2
	①農林水産業の背景となる自然条件や社会条件に着目しながら、各地で異なる形態が発展してきたことや、空間的な規則性、傾向性を見出す。 ②自然条件を土台としながら、社会条件の変化に伴って変容してきた農林水産業の分布や発達の仕方について、多面的・多角的に考察し、表現する。 ③世界の食料問題について、生産と分配の側面に着目しながら主体的に追究する。	農林水産業と食料問題	①農林水産業の背景となる自然条件や社会条件に着目しながら、各地で異なる形態が発展してきたことや、空間的な規則性、傾向性を見出そうとしている。 ②自然条件を土台としながら、社会条件の変化に伴って変容してきた農林水産業の分布や発達の仕方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界の食料問題について、生産と分配の側面に着目しながら主体的に追究しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2学期	①原燃料や労働力、新技術の開発などに基づいて発展してきた鉱工業とそれが盛んな地域について、空間的な規則性、傾向性を見出す。 ②世界の鉱工業の中心となる分野や地域の変遷と、今後の展望について、多面的・多角的に考察し、表現する。 ③世界の資源・エネルギー問題について、持続可能性の側面に着目しながら主体的に追究する。	鉱工業と資源・エネルギー問題	①原燃料や労働力、新技術の開発などに基づいて発展してきた鉱工業とそれが盛んな地域について、空間的な規則性、傾向性を見出そうとしている。 ②世界の鉱工業の中心となる分野や地域の変遷と、今後の展望について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界の資源・エネルギー問題について、持続可能性の側面に着目しながら主体的に追究しようとしている。	○	○	○	7
	①第一次・第二次産業の生産力の拡大に伴って発展した第三次産業と交通・通信・貿易について、それらが盛んな地域の空間的な規則性、傾向性を見出す。 ②世界の第三次産業と交通・通信・貿易の中心となる分野や地域の変遷と、今後の展望について、多面的・多角的に考察し、表現する。 ③第三次産業と交通・通信・貿易が抱える現代的な課題について、主体的に追究する。	第三次産業と交通・通信・貿易	①第一次・第二次産業の生産力の拡大に伴って発展した第三次産業と交通・通信・貿易について、それらが盛んな地域の空間的な規則性、傾向性を見出そうとしている。 ②世界の第三次産業と交通・通信・貿易の中心となる分野や地域の変遷と、今後の展望について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③第三次産業と交通・通信・貿易が抱える現代的な課題について、主体的に追究している。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	①増加と減少、出生と死亡、移動といった人口に関わる諸事象について、空間的な規則性、傾向性を見出す。 ②各地で異なる人口に関わる諸事象の現れ方について、多面的・多角的に考察し、表現する。 ③人口爆発や高齢化、少子化、過疎と過密といった世界の人口問題について、主体的に追究する。	人口と人口問題	①増加と減少、出生と死亡、移動といった人口に関わる諸事象について、空間的な規則性、傾向性を見出そうとしている。 ②各地で異なる人口に関わる諸事象の現れ方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③人口爆発や高齢化、少子化、過疎と過密といった世界の人口問題について、主体的に追究している。	○	○	○	6
	①村落や都市の立地や形態、発達、変容の仕方に見られる傾向性や規則性、地域性を見出す。 ②世界の村落や都市の立地や形態の違いや、発達、変容の仕方の違いに加え、居住する人々の暮らしとその課題について、多面的・多角的に考察し、表現する。 ③世界の村落と都市が抱える現代的な課題について、主体的に追究する。	村落・都市と都市・居住問題	①村落や都市の立地や形態、発達、変容の仕方に見られる傾向性や規則性、地域性を見出そうとしている。 ②世界の村落や都市の立地や形態の違いや、発達、変容の仕方の違いに加え、居住する人々の暮らしとその課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界の村落と都市が抱える現代的な課題について、主体的に追究している。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3学期	①自然環境や社会条件によって様々な衣食住が見られることや、世界の多様な民族・宗教の特徴や広がりについて、傾向性や規則性、地域性を見出す。 ②世界の様々な衣食住や民族、言語、宗教の独自性に加え、各地で見られる民族問題の背景について、多面的・多角的に考察し表現する。 ③世界の民族問題について、主体的に追究する。	衣食住と民族・宗教・民族問題	①自然環境や社会条件によって様々な衣食住が見られることや、世界の多様な民族・宗教の特徴や広がりについて、傾向性や規則性、地域性を見出そうとしている。 ②世界の様々な衣食住や民族、言語、宗教の独自性に加え、各地で見られる民族問題の背景について、多面的・多角的に考察し表現している。 ③世界の民族問題について、主体的に追究している。	○	○	○	9
	①国家の領域は様々な境界線で区分されており、領域設定や変更、新国家誕生に伴う諸問が存在することについて理解する。 ②国家の領域の設定や変更、新国家誕生に伴って生じている領土問題の背景について、多面的・多角的に考察し、表現する。 ③国家の領域と領土問題について、主体的に追究する。	国家の領域と領土問題	①国家の領域は様々な境界線で区分されており、領域設定や変更、新国家誕生に伴う諸問が存在することについて理解している。 ②国家の領域の設定や変更、新国家誕生に伴って生じている領土問題の背景について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③国家の領域と領土問題について、主体的に追究している。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画　様式例

高等学校 令和７年度（３学年用） 教科　地理歴史　科目　地理演習

教　科：　地理歴史　　科　目：　　地理演習　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　1～8組

教科担当者：

使用教科書：（ 新詳地理探究（帝国書院）新詳高等地図（帝国書院）　　）

教科　　地理歴史　　の目標：　社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。

【知識及び技能】現代世界の諸事象について、諸資料の内容を理解し、効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】現代世界の諸事象について、諸資料を活用して多面的・多角的に考察し説明する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】現代世界の諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

科目　　地理探究　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理的事象の空間的な規則性や傾向性、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解すると共に、地図や地理情報システムなどを用いて情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付ける。	地理的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などの概念を用いて、地誌的に考察したり、現代世界の諸課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。	現代世界の諸課題を主体的に探究しようとする態度を養うと共に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、地球環境や世界の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	①急速な工業化や経済発展を経験してきた東アジアについて、発展の背景となった諸要因や、世界経済に与える影響について理解する。 ②工業化や経済発展の要因と共に、現代の東アジアが抱える諸課題について、多面的・多角的に考察し、表現する。 ③東アジアが抱える現代的な諸課題とその解決策や日本との関係の在り方について、主体的に追究する。	東アジア	①急速な工業化や経済発展を経験してきた東アジアについて、発展の背景となった諸要因や、世界経済に与える影響について理解している。 ②工業化や経済発展の要因と共に、現代の東アジアが抱える諸課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③東アジアが抱える現代的な諸課題とその解決策や日本との関係の在り方について、主体的に追究している。	○	○	○	7
	①稲作などの農業や、第二次産業の成長の背景となった諸要因や、民族・言語・宗教的な多様性という地域特性について理解する。 ②自然環境を背景とする特徴的な農業や、工業化の進展や民族・言語・宗教的多様性の結果生じている諸問題について、多面的・多角的に考察し、表現する。 ③東南アジアが抱える現代的な諸課題とその解決策や日本との関係の在り方について、主体的に追究する。	東南アジア	①稲作などの農業や、第二次産業の成長の背景となった諸要因や、民族・言語・宗教的な多様性という地域特性について理解している。 ②自然環境を背景とする特徴的な農業や、工業化の進展や民族・言語・宗教的多様性の結果生じている諸問題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③東南アジアが抱える現代的な諸課題とその解決策や日本との関係の在り方について、主体的に追究している。	○	○	○	9
	①巨大な人口と特徴ある宗教を背景とする南アジアの地域性について理解する。 ②資源や労働力に支えられて発展した工業や、近年成長著しいＩＴ産業が南アジア社会に与えている影響について、多面的・多角的に考察し、表現する。 ③南アジアが抱える現代的な諸課題とその解決策や日本との関係の在り方について、主体的に追究する。	南アジア	①巨大な人口と特徴ある宗教を背景とする南アジアの地域性について理解している。 ②資源や労働力に支えられて発展した工業や、近年成長著しいＩＴ産業が南アジア社会に与えている影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③南アジアが抱える現代的な諸課題とその解決策や日本との関係の在り方について、主体的に追究している。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2学期	①乾燥した気候を背景に、古くから盛んだった交易活動やイスラームの発展に特徴づけられる中央・西アジアの地域性について理解する。 ②石油資源を背景に近年著しく変容してきた中央・西アジアの社会の今後の展望について、多面的・多角的に考察し、表現する。 ③中央・西アジアが抱える現代的な諸課題とその解決策や日本との関係の在り方について、主体的に追究する。	中央・西アジア	①乾燥した気候を背景に、古くから盛んだった交易活動やイスラームの発展に特徴づけられる中央・西アジアの地域性について理解している。 ②石油資源を背景に近年著しく変容してきた中央・西アジアの社会の今後の展望について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③中央・西アジアが抱える現代的な諸課題とその解決策や日本との関係の在り方について、主体的に追究している。	○	○	○	6
	①中央・西アジアとのつながりが見られる北アフリカと、サハラ以南アフリカについて、二つの地域の共通点や相違点を比較ながら、地域的特徴について理解する。 ②植民地化の歴史や、豊富な鉱産資源を有する一方で貧困や民族問題を抱えるアフリカ社会について、多面的・多角的に考察し、表現する。 ③アフリカが抱える現代的な諸課題とその解決策や日本との関係の在り方について、主体的に追究する。	アフリカ	①中央・西アジアとのつながりが見られる北アフリカと、サハラ以南アフリカについて、二つの地域の共通点や相違点を比較ながら、地域的特徴について理解している。 ②植民地化の歴史や、豊富な鉱産資源を有する一方で貧困や民族問題を抱えるアフリカ社会について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③アフリカが抱える現代的な諸課題とその解決策や日本との関係の在り方について、主体的に追究している。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	①二度の世界大戦及び冷戦の舞台となったヨーロッパについて、その後のＥＵ設立と拡大に向かう経緯とともに地域的特徴を理解する。 ②産業革命以降の工業化と経済発展を遂げたきたヨーロッパが、民族・宗教的多様性を増していることで生じている現代的課題について、多面的・多角的に考察し、表現する。 ③ヨーロッパが抱える現代的な諸課題とその解決策や日本との関係の在り方について、主体的に追究する。	ヨーロッパ	①二度の世界大戦及び冷戦の舞台となったヨーロッパについて、その後のＥＵ設立と拡大に向かう経緯とともに地域的特徴を理解している。 ②産業革命以降の工業化と経済発展を遂げたきたヨーロッパが、民族・宗教的多様性を増していることで生じている現代的課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ヨーロッパが抱える現代的な諸課題とその解決策や日本との関係の在り方について、主体的に追究している。	○	○	○	7
	①移民国家としての民族的多様性や、大規模農業、先端技術産業に特徴づけられる北アメリカの地域的特徴について理解する。 ②民族的多様性を背景とする社会の特徴や、世界を牽引する先端技術産業が立地した背景について、多面的・多角的に考察し、表現する。 ③北アメリカが抱える現代的な諸課題とその解決策や日本との関係の在り方について、主体的に追究する。	北アメリカ	①移民国家としての民族的多様性や、大規模農業、先端技術産業に特徴づけられる北アメリカの地位的特徴について理解している。 ②民族的多様性を背景とする社会の特徴や、世界を牽引する先端技術産業が立地した背景について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③北アメリカが抱える現代的な諸課題とその解決策や日本との関係の在り方について、主体的に追究している。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
3学期	①先住民文化と植民地化によってもたらされた文化の共存や、大土地所有制に基づく農業、豊富な鉱産資源に特徴づけられる南アメリカの地域的特徴について理解する。 ②植民地化が南アメリカ社会に与えた影響や、同一都市の中に見られる居住地分化と格差などの諸課題について、多面的・多角的に考察し、表現する。 ③南アメリカが抱える現代的な諸課題とその解決策や日本との関係の在り方について、主体的に追究する。	南アメリカ	①先住民文化と植民地化によってもたらされた文化の共存や、大土地所有制に基づく農業、豊富な鉱産資源に特徴づけられる南アメリカの地域的特徴について理解している。 ②植民地化が南アメリカ社会に与えた影響や、同一都市の中に見られる居住地分化と格差などの諸課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③南アメリカが抱える現代的な諸課題とその解決策や日本との関係の在り方について、主体的に追究している。	○	○	○	9
	①熱帯から乾燥帯、温帯まで多様で豊かな自然環境を背景に、大規模農業や大規模資源産地い特徴づけられるオセアニアの地域性について理解する。 ②アジアとの経済的結びつきを強めている背景や、今後の地域社会の展望について、多面的・多角的に考察し、表現する。 ③オセアニアが抱える現代的な諸課題とその解決策や日本との関係の在り方について、主体的に追究する。	オセアニア	①熱帯から乾燥帯、温帯まで多様で豊かな自然環境を背景に、大規模農業や大規模資源産地い特徴づけられるオセアニアの地域性について理解している。 ②アジアとの経済的結びつきを強めている背景や、今後の地域社会の展望について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③オセアニアが抱える現代的な諸課題とその解決策や日本との関係の在り方について、主体的に追究している。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

年間授業計画　様式例

高等学校 令和７年度（３学年用） 教科　　地理歴史　科目　　選択日本史

教　科：　地理歴史　　科　目：　　選択日本史　　単位数：　4　単位

対象学年組：第　3 学年　1 組～　8 組

教科担当者：

使用教科書：（ 山川出版社　『詳説日本史』　　）

教科　　地理歴史　　の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　　選択日本史　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 原始・古代 ・日本文化のあけぼの ・農耕社会の成立 ・古墳文化の展開 ・飛鳥の朝廷	・原始・古代 ・授業プリント・板書 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解している。 【思考・判断・表現】 黒曜石などの考古資料をもとに、集落・風習・食生活の変化などを踏まえて旧石器文化・縄文文化の社会について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化や縄文文化の特色を明らかにしようとしている。	○	○	○	12
	B 原始・古代 ・律令国家への道 ・平城京の時代 ・律令国家の文化 ・律令国家の変容 ・摂関政治 ・地方政治の展開と武士	・原始・古代 ・授業プリント・板書 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程などを理解している。 【思考・判断・表現】 天智朝・天武朝・持統朝の政治動向に着目して、律令体制整備の過程について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響などに着目して、律令体制の成立過程とのつながりを明らかにしようとしている。	○	○	○	12
	C 中世 ・院政の始まり ・院政と平氏政権 ・鎌倉幕府の成立 ・武士の社会	・中世 ・授業プリント・板書 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 貴族政治や土地制度の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。 【思考・判断・表現】 武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。	○	○	○	12
	D 中世 ・モンゴル襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化 ・室町幕府の成立 ・幕府の衰退と庶民の台頭 ・室町文化 ・戦国大名の登場	・中世 ・授業プリント・板書 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 宋・元などユーラシアとの交流に着目して、モンゴル襲来の国際的な背景や国内政治への影響について理解している。 【思考・判断・表現】 鎌倉時代の生産の発達と商品の流通、東アジア情勢や国内での貨幣経済の発達とその意義について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響について、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
2学期	E 近世 ・織豊政権，桃山文化 ・幕藩体制の成立 ・幕藩社会の構造 ・幕政の安定	・近世 ・授業プリント・板書 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。 【思考・判断・表現】 織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現しようとしている。	○	○	○	27
	定期考査			○	○	○	1
	F 近世 ・幕政の安定 ・経済の発展 ・元禄文化 ・幕政の改革 ・宝暦・天明期の文化 ・幕府の衰退と近代への道	・近世 ・授業プリント・板書 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆・打ちこわしの頻発などに関する諸資料から情報を読み取り、享保の改革や田沼時代の諸政策の意義について理解している。 【思考・判断・表現】 商品作物の栽培や貨幣経済の浸透により、米作を基盤とする幕藩体制が動揺する過程を踏まえ、飢饉や一揆の発生が幕藩体制に与えた影響を考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 幕藩体制下の社会・経済の仕組みの変化や、幕府・諸藩の政策の変化について課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	27
	定期考査			○	○	○	1
3学期		・大学入試対策					36
							合計 140

年間授業計画　様式例

高等学校 令和7年度（３学年用） 教科　　地理歴史　　科目　日本史演習

教　科：　地理歴史　　科　目：　日本史演習　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　日本史演習①②③

教科担当者：

使用教科書：（ 山川出版社『日本史探究　詳説日本史』　　）

教科　　地理歴史　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察

科目　　日本史演習　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開,特に近現代に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報，特に史料を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史，特に近現代の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史，特に近現代の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	ワシントン体制・恐慌の時代 ①ワシントン会議の内容と歴史的意義について理解を深める。 ②社会運動の勃興について理解を深める。 ③金融恐慌と社会運動の高まりについて理解を深める。	・ワシントン会議、社会運動の勃興 ・普選運動と護憲三派内閣の成立 ・金融恐慌と金解禁 ・授業プリント・板書 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】国際協調外交の展開と崩壊，経済状況との関係などに着目し、諸資料から適切に情報を読み取り、この時期の歴史的知識を得る。 【思考・判断・表現】国際協調外交の展開と崩壊，経済状況との関係などに着目し、諸資料から適切に情報を読み取り、この時期の歴史的特色について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】国際協調外交の展開と崩壊，経済状況との関係などに着目し、課題を見出し、自ら主体的に追究しようとしている。	○	○	○	11
	恐慌と第二次世界大戦 ①戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。 ②社会主義運動の高揚と国家主義の台頭による軍部の政治的進出を踏まえて、協調外交が挫折していく過程を考察する。	・恐慌の時代、軍部の台頭、第二世界大戦 ・授業プリント・板書 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連続した恐慌と政府の対応などに関わる諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。 【思考・判断・表現】ワシントン体制下の協調外交が、中国における民族運動の進展や日本の経済の動向によって次第に緊張が高まったことについて考察し、根拠を明確にして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2学期	占領下の日本 ①戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策および戦後の民主化政策とそれにともなう諸改革について、その経過と内容を理解する。 ②戦後政治の動きを踏まえて、集大成となる日本国憲法制定の意義を考察する。	・占領と改革、冷戦の開始と講和 ・授業プリント・板書 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解している。 【思考・判断・表現】日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟、新安保条約・ＬＴ貿易・日韓基本条約・沖縄返還問題などの外交事案がもたらした課題を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】55年体制の歴史的意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとしている。				8
	定期考査			○	○		1
	高度成長の時代 ①独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を理解する。 ②冷戦構造の中で日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察する。	・55年体制、経済復興から高度経済成長へ ・授業プリント・板書 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】冷戦やグローバル化の進展の影響などに着目して、戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活や地域社会の変化に関わる諸資料から情報を読み取っている。 【思考・判断・表現】日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連づけたり、様々な社会問題の発生について多面的・多角的に考察したりして、その結果を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】高度経済成長がもたらした国内的・国際的な日本の変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。				10
	激動する世界と日本 ①ドル＝ショックや石油危機を踏まえて、主要先進国首脳会議が開かれた意義を理解する。 ②高度成長が終焉し、保守政権が動揺する中、２度にわたる石油危機を乗り越え、経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を多面的・多角的に考察する。	・経済大国への道、冷戦の終結と日本社会の変容 ・授業プリント・板書 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】ドル＝ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。 【思考・判断・表現】日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究しようとしている。				8
	定期考査			○	○		1
3学期	近現代国家・社会・文化の総復習	・授業プリント・板書 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】我が国の歴史の展開,特に近現代に関わる諸事象について、諸資料から効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】我が国の歴史，特に近現代の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】我が国の歴史，特に近現代の展開に関わる諸事象について、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などが身についている。	○	○	○	4
	大学受験対応個別指導	・論述添削指導	【知識・技能】我が国の歴史の展開,特に近現代に関わる諸事象について、諸資料から効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】我が国の歴史，特に近現代の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】我が国の歴史，特に近現代の展開に関わる諸事象について、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などが身についている。	○	○	○	14
							合計 70

年間授業計画　様式例

高等学校 令和７年度（3学年用） 教科　　地理歴史　　科目　選択世界史

教　科：　地理歴史　　科　目：　　選択世界史　　単位数：　4　単位

対象学年組：第　3 学年　　1 組～　　8 組

教科担当者：

使用教科書：（ 詳説　世界史探究　　）

教科　　地理歴史　　の目標：　社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

【 知　識　及　び　技　能 】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、理解しているとともに、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色について概念などを活用して多面的・多角的に考察したり構想したりする力、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　　選択世界史　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第１章　文明の成立と古代文明の特質 第２章　中央ユーラシアと東アジア世界	おもな古代文明の立地について考察し、文明が生まれるために必要だった条件を理解する。 オリエントの風土とのその文明の特質の関係を多面的・多角的に考察し、表現する。 中央ユーラシアの人々が営んでいた生活と風土の関係を理解する。 遊牧国家の興亡がユーラシア大陸の東西にもたらした変動を理解する	古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしいている。 オリエント、南アジア、東アジア、アメリカの各地でそれぞれの地域の環境に適応した文化・文明が発展したことを理解している。 各地の考古学的資料をもとに、当時の社会について多面的・多角的に考察し、自分の言葉で表現している。	○	○	○	12
	第３章　南アジア世界と東南アジア世界の展開 第４章　西アジアと地中海周辺の国家形成	南アジアの多様性を生み出した地理的環境について理解する。 東南アジアの風土について他のアジアと日本と比較したうえで理解する アケメネス朝が広大な領域に中央集権的支配を築くことができた背景や要因を理解する。 ギリシア文明、ローマ文明が近代ヨーロッパにもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。	南アジアで生まれた諸宗教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 古代ギリシア・ローマについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 キリスト教の成立について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	第５章　イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 第６章　イスラーム教の伝播と西アジアの動向	イスラーム文化の成立の経緯を理解し、その特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 ヨーロッパの自然条件と大規模な人の移動との関係について理解する。 イスラームかが中央アジアにもたらした変化について理解している。 十字軍やモンゴルの進出が西アジアにもたらした変化について考察し表現している。	イスラーム教の成立と拡大について、自分が抱いた興味・関心や疑問，追究してみたいことなどを見いだして，見通しを持って学習に取り組もうとしている。ヨーロッパ世界の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしいている。	○	○	○	12
	第７章　ヨーロッパ世界の変容と展開	中世の西ヨーロッパにおいてローマ=カトリック教会が普遍的な権威をもつに至った背景を理解する。 ビザンツ帝国の衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現する。 封建社会が解体に向かった背景を多面的・多角的に考察し表現する。 中世の西ヨーロッパにおいてキリスト教が果たした文化的役割を理解する。	西ヨーロッパ世界、東ヨーロッパ世界、それぞれの変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 封建社会の衰退と教皇権の衰退の過程と、中央集権国家に向けた西ヨーロッパ各国の動きを理解している。 中世の西ヨーロッパの文化について、キリスト教との関係について理解している。	○	○	○	11
2学期	第８章　東アジア世界の展開とモンゴル帝国 第９章　大交易・大交流の時代	10世紀前半に東アジアで政権の交替があいついだ背景や、そこで成立した諸国の共通点を理解する。 モンゴル帝国による支配が東アジアに及ぼした影響について理解する。 明との朝貢関係が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。 16世紀に一体化が始まった「世界」の性格を多面的に理解している。	10～12世紀の東アジア世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組んでいる。	○	○	○	27
	第10章　アジアの諸帝国の繁栄 第17章　第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	アジアの諸帝国の統治が当時の人々に与えた影響を理解する。 ヨーロッパとアジア・太平洋の第二次世界大戦の展開を理解する。 戦後国際秩序がいかなる構想のもので形成されたのかを理解する。 冷戦と分断国家の形成を理解する。	オスマン帝国、サファヴィー朝、ムガル帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 第二次世界大戦の経過、戦後の国際秩序について、追及してみたいことを見出して、見通しを持って学習に取り組んでいる。	○	○	○	27
	定期考査			○	○	○	2
3学期	第18章　冷戦と第三世界の台頭	冷戦の進展が世界各国に与えた影響を多面的・多角的に考察する。 第三世界における開発独裁の影響を多面的・多角的に考察し表現する。 オイル=ショックが各国の社会と経済に与えた影響を理解する。 1970～80年代に進んだ開発途上国の工業化の経緯を理解する。 ソ連で始まった改革と東欧革命の関係を多面的・多角的に考察する。	冷戦の展開について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 先進国の平均経済成長率を示した統計資料やスターリン批判などの資料を基に、冷戦下における東西両陣営の社会の変容を多面的・多角的に考察し表現している。 冷戦体制の動揺について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組んでいる。	○	○	○	18
	第19章　冷戦の終結と今日の世界	冷戦終結後の世界の変化を多面的・多角的に考察し表現する。 20世紀以降の科学技術革新が人々の生活に与えた影響を理解する。 現代世界の課題の形成に関わる諸事象の歴史的背景や原因・結果・事象相互の関連について考察する。	冷戦の終結について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 今日の世界が抱えている課題について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組んでいる。	○	○	○	18 合計
	定期考査			○	○	○	140

年間授業計画

高等学校 令和7年度（３学年用） 教科　地理歴史　科目　世界史演習

教　科：地理歴史　　科　目：　世界史演習　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　1　組～　8　組

教科担当者：

使用教科書：（ 山川出版社　世界史探究　詳説世界史 ）

教科　地理歴史　の目標：

【知識及び技能】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、理解しているとともに、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色について概念などを活用して多面的・多角的に考察したり構想したりする力、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　世界史演習　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにするとともに、実践的技術力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄 19世紀欧米文化における担い手や展開された場（空間）の推移を理解する。	国民文化と国民国家形成との関係を多面的・多角的に考察し、近代諸科学の発展の要因とその成果が広まった背景を理解する。 ・教材　教科書　プリント　図録 ・一人１台端末の活用　等	・19世紀欧米文化のさまざまな事例をもとに、この時期の文化と現代の文化とのつながりを多面的・多角的に考察し表現している。 ・19世紀欧米の文化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	・西アジア地域の変容 西アジアの変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組ませる。	オスマン帝国の動揺の要因を多面的・多角的に考察し表現、理解するとともに帝国の改革の成果と課題を理解する。 ・教材　教科書　プリント　図録 ・一人１台端末の活用　等	・オスマン帝国・イラン・アフガニスタンにおける動揺や改革の推移を、ヨーロッパ列強との関係ともあわせて理解している。 ・マムルークの一掃を表した図像資料やオスマン帝国憲法などの資料をもとに、西アジアの変容について、この時期のアジア各地での変化や改革について多面的・多角的に考察し表現している。	○	○	○	6
	・南アジア・東南アジアの植民地化 ヨーロッパ各国の東インド会社が南アジアや東南アジアでおこなった活動の状況を理解する。	イギリス東インド会社の機能の変化を多面的・多角的に考察し、イギリスによるインドの直接統治の特徴を理解する。また、東南アジアの植民地化の経緯を理解する。 ・教材　教科書　プリント　図録 ・一人１台端末の活用　等	・東南アジアの植民地化の地図やゴムのプランテーションを示した図像資料をもとに、ヨーロッパ各国の進出の経緯をふまえ、南アジアと東南アジアにおける植民地化と世界経済の関係を多面的・多角的に考察し表現している。　・南アジア・東南アジアの植民地化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことから学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	・東アジアの激動 清朝の危機の要因を多面的・多角的に考察し、欧米列強の進出に対する行動を理解する。	清朝による国内秩序の再建の試みについて、その成果と課題を理解し、欧米諸国の進出と日本の台頭が東アジア諸国間の関係に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・教材　教科書　プリント　図録 ・一人１台端末の活用　等	・欧米諸国の進出の経緯と東アジア諸国の改革の試みの成果や課題を理解している。 ・東アジアの激動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	定期考査	知識問題・論述問題・振り返り	考査・学習態度（調べ学習や発表）などから総合的に判断する	○	○		1
2学期	・第2次産業革命と帝国主義 帝国主義の支配を受けた地域における社会や文化の変化を多面的・多角的に考察し表現する。	新しく生まれた電気・化学製品が人々に与えた影響を理解し、帝国主義の支配を受けた地域における社会や文化の変化を多面的・多角的に考察する。 ・教材　教科書　プリント　図録 ・一人１台端末の活用　等	第２次産業革命が社会に与えた影響や帝国主義時代の欧米列強の国内情勢および植民地拡大の経緯を理解している。また、欧米列強が植民地や勢力圏の拡大を争った背景を多面的・多角的に考察し表現している。	○	○	○	6
	・列強の世界分割と列強体制の二分化列強による太平洋地域の植民地化の経緯を理解する。	列強の植民地化によるアフリカの社会や文化の変容を多面的・多角的に考察し表現する。 ・教材　教科書　プリント　図録 ・一人１台端末の活用　等	列強の植民地・勢力圏を示した地図や帝国主義を風刺した図像資料をもとに、列強による世界分割が各地に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。	○	○	○	6
	・アジア諸国の変革と民族運動 改革をおこなったにもかかわらず清朝が倒れた原因を理解する。	アジア各地における改革や民族運動がどのように展開し、いかなる結果をもたらしたのかを理解している。 ・教材　教科書　プリント　図録 ・一人１台端末の活用　等	アジア各地の情勢や梁啓超「中国積弱の根源について」などの資料をもとに、アジア各地の変革や民族運動の背景を多面的・多角的に考察し表現している。	○	○	○	6
	定期考査	知識問題・論述問題・振り返り	考査・学習態度（調べ学習や発表）などから総合的に判断する	○	○		1
	・第一次世界大戦とロシア革命 歴史上はじめての世界大戦が勃発した原因を多面的・多角的に考察し表現する。	第一次世界大戦がもたらした影響とロシア革命を多面的・多角的に考察し表現する。・教材　教科書　プリント　図録 ・一人１台端末の活用　等	塹壕戦やさまざまな新兵器、軍需工場で働く女性の図などの第一次世界大戦に関する図像資料および「平和に関する布告」などの資料をもとに、第一次世界大戦とロシア革命が世界にもたらした変容を多面的・多角的に考察し表現している。	○	○	○	8
	定期考査	知識問題・論述問題・振り返り	考査・学習態度（調べ学習や発表）などから総合的に判断する	○	○		1

３学期	・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 世界恐慌が起こった背景やその影響を多面的・多角的に考察し表現し、ニューディール政策およびブロック経済の特徴や世界経済への影響を理解する	日本と中国が全面戦争へいたった背景を多面的・多角的に考察し表現し、ファシズム諸国の攻勢が国際政治に与えた影響を理解する。 ・教材　教科書　プリント　図録 ・一人１台端末の活用　等	世界恐慌やヴェルサイユ体制の崩壊について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	・アジア・アフリカ地域の民族運動 第一次世界大戦が東アジアの政治・経済・文化に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	第一次世界大戦後のインド・東南アジア・アフリカにおける民族運動の経緯を理解する。 ・教材　教科書　プリント　図録 ・一人１台端末の活用　等	アジア・アフリカ地域の民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8 合計 70

年間授業計画　様式例

高等学校 令和７年度（１学年用） 教科　　公民　　科目　政治・経済

教　科：　公民　　科　目：　　政治・経済　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　① 組～　③ 組

教科担当者：

使用教科書：（ 高等学校　政治・経済　（清水書院）　　）

教科　　公民　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理，政治，経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題について，事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，解決に向けて公正に判断したりする力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される，人間としての在り方生き方についての自覚や，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める

科目　　政治・経済　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身に付けた判断基準を根拠に構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して，合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に，より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知技】経済活動と市場，経済主体と経済循環，国民経済の大きさと経済成長，物価と景気変動について現実社会の諸事情を通して理解する。現代日本の経済に関する諸資料から課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付ける。 【思判表】市場経済の機能と限界について，その基本となる理論や現実経済のしくみなどを踏まえたうえで，経済的な数値，資料をもとに，多面的・多角的に考察，構想し，表現できる。 【態度】経済と経済活動について関心をもち，抱える課題を解決しようという意欲をもって学習に臨む。	第2章　現代経済のしくみと日本 テーマ　経済とはなにか 1　経済活動と経済主体 2　市場経済の機能と限界 テーマ　経済体制の変容と経済思想 3　国民経済と景気変動 4　物価とその変動	【知技】経済活動と市場，経済主体と経済循環，国民経済の大きさと経済成長，物価と景気変動について現実社会の諸事情を通して理解している。経済生活の変化や現代経済の仕組みや機能について理解している。経済についての概念や理論について理解している。市場の効率性について理解している。現代日本の経済に関する諸資料から課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けている。 【思判表】市場経済の機能と限界について，その基本となる理論や現実経済のしくみなどを踏まえたうえで，経済的な数値，資料をもとに，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 【態度】経済と経済活動について関心をもち，抱える課題を解決しようという意欲をもって学習に臨もうとしている。	○	○	○	7
	【知技】財政のはたらきとしくみ及び租税などの意義，金融のはたらきとしくみについて現実社会の諸事情を通して理解する。現代日本の経済に関する諸資料から課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付ける。 【思判表】持続可能な財政及び租税の在り方，金融を通した経済活動の活性化について多面的・多角的に考察，構想し，表現する。 【態度】金融のはたらきとしくみについて関心をもち，実際の社会の金融の役割を理解し，財政のはたらきとしくみについて関心をもち，抱える課題を解決しようという意欲をもって学習に臨む。	5　金融のしくみと働き 6　財政のしくみと働き	【知技】財政のはたらきとしくみ及び租税などの意義，金融のはたらきとしくみについて現実社会の諸事情を通して理解している。金融に関する技術変革と企業経営に関する金融の役割について理解している。現代日本の経済に関する諸資料から課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けている。 【思判表】持続可能な財政及び租税の在り方，金融を通した経済活動の活性化について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 【態度】金融のはたらきとしくみについて関心をもち，実際の社会の金融の役割を理解しようとしている。財政のはたらきとしくみについて関心をもち，抱える課題を解決しようという意欲をもって学習に臨もうとしている。	○	○	○	6
	【知技】第二次世界大戦後の日本経済のあゆみについて理解している。第二次世界大戦後の日本経済のあゆみに関する諸資料を読み取る技能を身に付ける。 【思判表】第二次世界大戦後の日本経済のあゆみについて，多様な資料からできごとの情報を考察し，多面的・多角的に構想し，表現する。 【態度】第二次世界大戦後の日本経済のあゆみについて関心をもち，その歴史的な経緯を理解する。	7　日本経済のあゆみ	【知技】第二次世界大戦後の日本経済のあゆみについて理解している。第二次世界大戦後の日本経済のあゆみに関する諸資料から課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けている。 【思判表】第二次世界大戦後の日本経済のあゆみについて，多様な資料からできごとの情報を考察し，多面的・多角的に構想し，表現している。 【態度】第二次世界大戦後の日本経済のあゆみについて関心をもち，その歴史的な経緯を理解しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○	○	1
	【知技】企業の活動と役割および労働と労働環境、社会保障制度，農業と食料問題，環境問題について理解し，関する諸資料から課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付ける。 【思判表】企業の活動と役割および労働と労働環境、社会保障制度，農業と食料問題，環境問題について諸資料から，それぞれのもつ課題について考察を深め，理解に向けて多面的・多角的に構想し，表現する。 【態度】これらの経済に関する問題問題について関心をもち，それぞれが抱える課題を解決しようという意欲をもって学習に臨む。	8　企業の活動と役割 9　労働問題と労働環境の変化 10　社会保障制度の充実 11　農業と食料問題	【知技】企業の活動と役割および労働と労働環境、社会保障制度，農業と食料問題，環境問題について理解し，関する諸資料から課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けている。 【思判表】企業の活動と役割および労働と労働環境について諸資料から，それぞれのもつ課題について考察を深め，理解に向けて多面的・多角的に構想し，表現している。社会保障制度，農業と食料問題，環境問題について，持続可能な社会を形成するために必要な政策課題を見いだし，多面的・多角的に考察し，表現している。 【態度】企業の活動と役割および労働、社会保障制度，農業と食料問題，環境問題について関心をもち，それぞれが抱える課題を解決しようという意欲をもって学習に臨もうとしている。	○	○	○	7
2学期	【知技】国際政治の現状，国際社会の変遷，人権，国家主権，領土（領海，領空を含む。）などに関する国際法の意義，国際連合をはじめとする国際機構の役割，我が国の安全保障と防衛，国際貢献について，現実社会の諸事象を通して知識を獲得，理解し，現代の国際政治に関する諸資料から課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付ける。 【思判表】国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に，国際法の果たす役割，軍縮や核兵器廃絶について多面的・多角的に考察，表現できる。 【態度】国際社会の変遷，人権，国家主権，領土などに関する国際法の意義，国際連合をはじめとする国際機構の役割，我が国の安全保障と防衛，国際貢献について関心をもち，抱える課題を解決しようとする。 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。	第2章　現代経済のしくみと日本 テーマ　経済とはなにか 1　経済活動と経済主体 2　市場経済の機能と限界 テーマ　経済体制の変容と経済思想 3　国民経済と景気変動 4　物価とその変動	【知技】国際政治の現状，国際社会の変遷，人権，国家主権，領土（領海，領空を含む。）などに関する国際法の意義，国際連合をはじめとする国際機構の役割，我が国の安全保障と防衛，国際貢献について，現実社会の諸事象を通して知識を獲得，理解し，現代の国際政治に関する諸資料から課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けている。 【思判表】国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に，国際法の果たす役割，軍縮や核兵器廃絶について多面的・多角的に考察，表現している。 【態度】国際社会の変遷，人権，国家主権，領土などに関する国際法の意義，国際連合をはじめとする国際機構の役割，我が国の安全保障と防衛，国際貢献について関心をもち，抱える課題を解決しようとしている。 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
	【知技】国際経済の現状，貿易の現状と意義，為替相場の変動，国民経済と国際収支，国際協調の必要性や国際経済機関の役割について，現実社会の諸事象を通して知識を獲得，理解し，それらに関する諸資料から課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付ける。 【思判表】相互依存関係が深まる国際経済の特質について多面的・多角的に考察し，表現している。国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現できる。 【態度】貿易の現状と意義，為替相場の変動，国民経済と国際収支，国際協調の必要性や国際経済機関の役割について関心をもち，それぞれを理解しようという意欲をもって学習に臨む。	第2編　現代の国際政治・経済 第1章　現代の国際社会と政治 1　国際社会の成立と国際法 2　国際連合と国際協力 3　国際社会の変遷と動向 4　国際紛争と軍縮管理	【知技】国際経済の現状，貿易の現状と意義，為替相場の変動，国民経済と国際収支，国際協調の必要性や国際経済機関の役割について，現実社会の諸事象を通して知識を獲得，理解している。また それらに関する諸資料から課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けている。 【思判表】相互依存関係が深まる国際経済の特質について多面的・多角的に考察し，表現している。国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 【態度】貿易の現状と意義，為替相場の変動，国民経済と国際収支，国際協調の必要性や国際経済機関の役割について関心をもち，それぞれを理解しようという意欲をもって学習に臨もうとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
3学期	【知技】ここまでの学習と1年次の「公共」で学んだ政治についての知識・技能を活かして入試問題に対応できる力をつける。 【思判表】ここまでの学習と1年次の「公共」で学んだ政治についての知識・技能を活かして多面的・多角的に考察，構想し，表現できる。 【態度】ここまでの学習と1年次の「公共」で学んだ政治についての知識・技能を活かして，それぞれを理解しようという意欲をもって学習に臨む。	第2章　現代の国際社会と経済 1　国際経済のしくみ 2　国際収支と為替 3　国際協調と国際経済機関の役割 4　グローバル化と国際経済	【知技】ここまでの学習と1年次の「公共」で学んだ政治についての知識・技能を活かして入試問題に対応できる力がついている。 【思判表】ここまでの学習と1年次の「公共」で学んだ政治についての知識・技能を活かして多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 【態度】ここまでの学習と1年次の「公共」で学んだ政治についての知識・技能を活かして，それぞれを理解しようという意欲をもって学習に臨もうとしている。	○	○	○	18
							合計
							70

年間授業計画　様式例

高等学校 令和７年度（（３学年用）　教科　公民　科目　倫理

教　科：公民　　科　目：　倫理　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　1 組～　8 組

教科担当者：

使用教科書：（ 詳述倫理 ）

教科　公民　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】それぞれの歴史において哲学及び宗教の持つ関係性を構造的に理解把握させる

【思考力、判断力、表現力等】上記思想的構造性を自らの問題性として捉えなおし再構築を試みる

【学びに向かう力、人間性等】こうした思想的課題が現在の世界観価値観をいかに形成しているか自らの主体的な生き方と関連させなが

科目　倫理　の目標：　根本的な知識を習得させ現代を生きる思想として主体的な問題として思考させる

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代における諸課題を歴史的思想的な視座で理解するために基本的構造的知識を把握させその関係性を把握させる	左記に記した知識技術を自らが生きる過程においていかに主体的に自らの問題性として思考し判断していくのかを培っていく	ただ単に考えるだけでは不十分にすぎず根本的な知性の獲得においてその学問的力量とそれに基づいた人間性を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	哲学や宗教のもつその存在的意味を思考し基本的な思想に関する知識を養う。	概説として神話的世界観から合理的世界観への転換・変容の意味を考察する。自然哲学の諸相、そこからのソフィスト的相対主義の現代的意味を考察する。	世界観および価値観の再構築とは何か。その基本的知識に基づいて自らの問題性として主体的に自身の世界観、価値観を再構成し、今後の生き方の方向性を思考する。	○	○	○	5
	相互の思想の意味を構造化し、現代との関係性を自らの問題として考える。	ソクラテスの抽象的本七論の討究およびプラトン哲学におけるイデア論の意味、アリストテレスの存在論の意味とその後の時代への思想的関連の討究をおこなう。	相対主義と現代の文化相対主義を含めてその現代的意味を通し現代社会のあり方を考察する。また抽象的思考がいかように哲学的意味を有するかを討究する。	○	○	○	6
	西欧的世界観と東洋的世界観との比較を通し思想的相互の特質を明確化していく。またその多様性に着目する。	仏教の世界観と人間観。古代ヒンドゥー教への批判的観点から仏教の特質を解説する。中国古代思想のもつ社会観と人間観のもつ意味。それぞれの思想的関係性の概説。	世界の存在の本質とは何か。個別具象的世界観と抽象的普遍的思考の意味とは奈辺にあるのか、またその両者の思想的な潮流がその後の近代および現代へいかような影響を及ぼしたのかその現代的意味を考察する。	○	○	○	7
	宗教的存在意義をユダヤ教、キリスト教およびイスラームの思想との関係性、特質の構造的な解説に及ぶ。	ユダヤ・キリスト教の相互の関係性とイエスの思想的特質。同時にイスラームとの連関もまた解説、展開する。	宗教のもつ基層的知識を獲得し、その基本的知識を通して、特にキリスト教・イエスの思想のもつ西欧思想との関連を考察し現代に生きる宗教の存在性の意味を自らの課題として主体的に思考する。	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1
2学期	西欧の中世的思考概念がいかように近代的概念へと変容していったのか。交通・交換過程の視座等を通してその展開を考察する。	中世的世界の共同体とその共同性のあり方を概説し、その後の展開としてのルネサンスおよび宗教改革の意味を討究する。さらにベーコン・デカルトの科学性および主体性の確立の意味を探る。	歴史と思想の転換を交通および交換過程との関	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	近代的自我の成立過程を代表的哲学者の事績を通じて論及する。心理学的視座や構造主義・分析哲学を通して主体性のあり方への批判的視座を考察する。	カントおよびヘーゲルの世界観の変容、さらにヘーゲル哲学とマルクス価値形態論における他者性の意味の討究を経て、ソシュール構造主義、さらに分析哲学を概説し実存主義を含めた西欧理性主義への批判的観点と現代思想の特質を考察していく。	現在に続く近代的思考がいかように成立し主体	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
3学期	日本思想史の概説と現代の社会・文化・思想との関係性を考察する。	仏教・儒教の受容とその展開及び現代に至る近代思想の概念を概説する、	現代社会における社会・思想・文化の原点が奈	○	○	○	18
							合計
							70